

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 2019年12月25日

事業所名 おおとり園

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	基準とされる面積を有している事を、職員間で確認しました。
	②	職員の配置数は適切であるか	個人の支援内容と安全性に配慮して人数を決めています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	支援中に不便を感じる事をその都度伝えてもらい適切に改善していきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	支援計画に沿って利用内容を記入していません。振り返りで気になった事や出来た事を話し合い、日報に記入し確認をしています。職員全員が共通理解をし共通支援が出来る様にしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者の意見を受け止め改善点を話し合いました。より良い支援が出来る様にしています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	新しい職員が増え、ホームページでの公開をしている事が伝わってなかったのでミーティング伝え、見てもらうようにしていきます。

⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現状行っていません。同法人内の他園と、職員の研修を行い合うなどして、意見を求め質の向上を目指しています。	
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	事例研修などを行っています。法人の本なども活用して意見交換をしています。職員全員参加での研修をしています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	モニタリングで話し合った事を職員に報告だけでなく、客観的に分析し計画を立てていきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	利用者登録カードと言う形で、状況把握に努めています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	園内ミーティングで、全員の意見を聞きながらプログラムを検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	主活動を課題・制作・運動と分けて工夫をしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	長期休み前にミーティングで目的を決めて目的に沿った活動内容を考えていきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	主に集団活動をメインに考えたプログラムなのですが、個別活動の時間も取り入れています。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	SNSを活用して連絡を取り打ち合わせをすることもあります。今日の活動内容や役割を連絡ボードを使って伝え常勤が言葉でも伝える様にしています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日、職員間で振り返りを行なっています。気付いた点や問題行動があったら話し合い共有できる様に日報に記入しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	個人の利用内容に適切に記入をしています。問題行動があった時は振り返りの時に改善点を話し合っています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	年二回モニタリングに参加して、見直しや達成できた報告を兼ねて判断しています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	ガイドラインに対する理解が職員間で差があったので、今後読み合わせを行い共通理解を図っていきます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	責任者が参加しています。主に支援計画を立てた方にも参加してもらう様にしています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	学校から年間予定表と行事予定表は頂いております。レスパイトについての話し合いの場にも参加し、災害時の対応方法の確認もしています。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	該当者は現在いません。てんかん発作等による連絡体制は利用者登録カードに記載されています。

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	特に該当はありません。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	特に該当はありません。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	昨年「自立・自己選択」について言語聴覚士さんに研修を受けました。利根地域療育センターの方に巡回支援をして頂き助言をして頂きました。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	近くの小学校に放課後児童クラブがあるので計画を立てて活動する機会を設けたいと考えています。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	事業所としての関りは持っていません。法人を通して、参加したいと考えています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	ハサミ遣いの課題で出来た事を保護者の方には伝えたら、学校でも練習していて、保護者との共通の理解を得る事が出来ました。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	専門職の方に相談をして一緒に考えて支援を行なっていきたいです。
	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明をしています。丁寧に分かりやすく説明をしていきます。

保護者への説明責任等

③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	個別面談でお話を聞かせて頂き経験からの助言や必要に応じて専門の方からの助言も視野に入れて行っています。
③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母の会はありません。親子企画や発表会などで保護者の方が集まり交流できるようにしていきます。先輩お母さんや専門の方を交えたお話し会が出来ように企画していきたいです。
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	担当相談員や理事に相談をして迅速かつ適切に対応していきます。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	園のお便りを発行しています。活動の様子を写真を多く掲載して分かりやすくしています。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	職員間で意識しながら対応をしています。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	マカトンサイン・筆談・写真カード・手話などを個人によって使い分けていきます。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現状行っていません。どんな方にも、いつでも関わっていただけるような園運営を心がけています。また、年2回同法人地域交流事業として商業施設にて、イベントを開催しています。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	保護者が見れる所に掲示しています。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	火災、水害、地震を想定した訓練をしています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	法人としての理念を繰り返し確認している他、県のチェックシート等も実施し意識を高めています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	保護者の方に説明をして了承を得ています。個別支援計画に記載しています。身体拘束時には記録を残し理由を書いています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	医師の指示書は受け取っていません。アレルギーの確認表という形で、保護者に記入・提出してもらっています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	報告書を作成しています。事例をもとに話し合い対策を考えています。